ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.5(0369A150)	調査位置				北　緯	37 ° 05 ' 11.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2008-09-06 ～ 2008-09-09	東　経	139 ° 54 ' 04.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	751.75 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 15.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.02 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	751.25	0.50	0.50		礫混じりシルト (M-G)	暗褐			植物根混じりでやや有機質呈す 少量小礫混じる		
1	750.15	1.10	1.60		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐	中ぐらい		礫はφ2～50mm程度の角礫主体である 全体に粘土の混入が多い		
2	749.75	0.40	2.00		風化凝灰角礫岩 (Tb)	青灰			風化が著しく,コアは土砂状～細礫状を呈す		
3					凝灰角礫岩 (Tb)	青緑灰			亀裂間隔は概ね30～50cm以上でコアは棒状コアとなる 亀裂は密着している φmax400mm大の角礫を取り込んでいる 全体に捕獲礫の混入多い 岩の硬さは堅硬で比較的新鮮である 岩級区分はCM～CHクラスに相当する		
4											
5	746.73	3.02	5.02								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	6	5	13／30	13
1.45	50／3			50／3	>50
2.00					
2.03	50／1			50／1	>50
3.00					
3.01	50／2			50／2	>50
4.00					
4.02	50／2			50／2	>50
5.00					
5.02					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/08